

衆議院厚生労働委員会ニュース

【第213回国会】令和6年3月22日（金）、第4回の委員会が開かれました。

1 生活困窮者自立支援法等の一部を改正する法律案（内閣提出第9号）

- ・武見厚生労働大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。

（質疑者）井坂信彦君（立憲）、田中健君（国民）、堤かなめ君（立憲）、山井和則君（立憲）、宮本徹君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

井坂信彦君（立憲）

（1） 居住支援関係

- ア 「居住福祉」という概念についての厚生労働大臣の見解
- イ 住宅セーフティネット法改正案により福祉的観点から生活困窮者の見守りを行うこととなる居住支援法人に対して厚生労働省として支援を行う必要性
- ウ 生活困窮者の「居場所」を活用したプル型の見守りを推進する必要性
- エ 公営住宅の多世代化により共助に基づく見守り機能を強化する必要性

（2） 生活困窮者自立支援法に基づく支援会議等の類似の会議体の整理を行う必要性

（3） 住居確保給付金の離職要件及び求職要件を撤廃する必要性

（4） 国による住宅手当制度創設の必要性

（5） 就労準備支援事業関係

- ア 事業を利用している間の生活費を支援する仕組みの必要性
- イ 事業の受皿企業に対して優先発注や助成金支給等のインセンティブを設ける必要性

田中健君（国民）

（1） 居住支援関係

- ア 包括的な居住支援についての厚生労働大臣の取組方針
- イ 居住支援事業を実施する自治体を拡大するための国の方策
- ウ 住居確保給付金において転居費用を補助する場合の要件及び補助する費目等
- エ 住宅手当制度の検討の可否

（2） 就労準備支援事業及び家計改善支援事業の必須化が見送られた理由及び必須化に向けた今後の取組

（3） 生活困窮者自立支援制度の相談支援員の賃金水準その他の雇用実態を把握し検証する必要性

堤かなめ君（立憲）

（1） 就労準備支援事業及び家計改善支援事業関係

- ア 支援の現場からの必須化の要望に対する厚生労働省の見解
- イ 自立相談支援事業と一体的に行う体制を確保する旨の今回の改正による運用面での変化

（2） 自立相談支援機関におけるレンタルスマホ貸出費用の予算化、相談者に対する緊急小口支援の制度化及び支援対象者宅へ訪問する際の手土産代の予算化についての厚生労働省の見解

（3） 生活困窮者自立支援制度の相談支援員等の対人援助職の処遇を改善する必要性

（4） 生活困窮者自立支援制度における事業の委託先選定に当たっては委託期間を最低5年以上とすること及び委託費だけではなく総合的に評価することを全国の自治体に周知徹底する必要性

（5） 居住支援事業（シェルター事業）を全国展開するための具体的な方策

(6) 我が国の所得格差についての厚生労働大臣の認識

山井和則君（立憲）

- (1) 緑茶の健康効果関係
 - ア 健康効果についての厚生労働省の見解
 - イ 委員会審議時にマイボトルで緑茶を飲用してはどうかとの指摘に対する厚生労働大臣の見解
- (2) 訪問介護の報酬改定関係
 - ア 事業所の実態調査を実施し事業所の減少、訪問介護員の不足の深刻化等の結果が出た場合には基本報酬の途中改定又は財政支援を行う必要性
 - イ 事業所が減少しないよう早急に対応する必要性
- (3) 令和6年度能登半島地震の被災者支援のための新たな給付金の支給開始時期、対象世帯数、被災世帯に占める対象世帯の割合及び予算総額
- (4) 特別支援学校の生徒に対する就労支援関係
 - ア 厚生労働省による就労支援策及び特別支援学校との連携内容
 - イ 障害者雇用の法定雇用率引上げ、障害者雇用の創出拡大等についての厚生労働省の今後の取組
- (5) 障害者雇用の拡大関係
 - ア 法定雇用率の更なる引上げ及び法定雇用率の達成事業者の割合を高めるための取組を行う必要性
 - イ 通所の障害福祉施設における工賃を厚生労働省の主導で引き上げる必要性
- (6) 年々目減りする年金への対応策を検討する必要性
- (7) 実質賃金が2年連続減少している要因及び実質賃金を引き上げるための方策

宮本徹君（共産）

- (1) 医療扶助の適正化関係
 - ア 国による参酌標準として後発医薬品の使用割合が示される可能性の有無
 - イ 医療へのフリーアクセスを実質的に制限する事態が加速する懸念
- (2) 居住支援関係
 - ア 単身高齢者に係る貧困率、経済的支援の強化及び住居費への支援ニーズについての厚生労働大臣の認識
 - イ 高齢者の転居に伴うリスク
 - ウ 持家で暮らす者への支援に比べて民間賃貸住宅で暮らす者への支援が弱いとの指摘に対する厚生労働大臣の認識
 - エ 家賃補助制度を創設する必要性